

県産米「作柄平年並み」

J A全農岐阜 卸売業者に報告

J A全農岐阜は28日を招いた「ぎふの米産
日、販売先の卸売業者「地交流会」を岐阜市内



卸売業者らと意見交換した
「ぎふの米産地交流会＝岐阜
市柳ヶ瀬通、ホテルグランヴ
ェール岐山

で開いた。2015年
産米の生産、集荷状況
を報告し、意見を交わ
した。

消費者のニーズを把
握し、生産と販売の安
定強化につなげようと
開催。県内外の卸売業
者14社や県の担当者、
県内J A関係者ら計46
人を前に、J A全農岐
阜の桑田博之本部長は
「産地、卸が結束して
岐阜産米のブランド化
を進めていきたい」と
あいさつした。

担当者は15年産米に

ついて、作柄は平年並
みだが、天候不順によ
り収量と1等比率の低
下が見られると報告。
卸売業者からは「関
西でもPRして販売で
きる体制を」「業態別
のニーズに合わせ品種
の誘導を」などの意見
が出た。(山田孝二)

ハツシモ、コシヒカリ
を中心にニーズに合わ
せた米づくりを進めて
いることや、飛騨コシ
ヒカリが昨年度食味ラ
ンキングで特Aの評価
が出た。(山田孝二)